

原小学校コミュニティ・スクールだより



～やさしく 強く やりぬく子～ 発行日：令和6年 12月 13日〈NO.7〉

1年生が、昔遊び交流会をしました(12/3)

12月3日(火)3・4校時、原自治協議会の協力のもと、1年生が地域センターで地域のみなさんと「昔遊び交流会」をしました。「コマ回し」、「かるた」、「けん玉」、「お手玉」、「タラヨウの葉っぱの葉書」の各コーナーをグループで10分ごとに移動しながら活動しました。タラヨウは、モチノキ科の植物で「郵便局の木」に制定されているそうです。理由は葉の裏に傷をつけると、そのあとが黒く残るという特徴があり、戦国時代には情報のやり取りに使われて「葉書き」のルーツと言われています。この日、1年生も竹串で葉の裏に自分のメッセージを書く体験をしました。

1年生も協力いただいた地域の方々もお互いがしっかりと楽しむことができ、大盛況に終わりました。また、原自治協議会からは子ども達一人一人に昔遊びセットをいただき、子ども達はとても喜んでいました。地域の皆様、原自治協議会の皆様、ありがとうございました。



〈昔遊びセットの贈呈〉



〈曲芸のようなコマの実演〉



〈かるた〉



〈タラヨウの葉っぱにメッセージ〉

2年生が、町たんけんをしました(12/4)

12月4日(水)3・4校時、2年生が生活科の学習で「町たんけん」をしました。

場所は「原保育所」「原駐在所」「ファミリーマート八本松原店」「原郵便局」の4か所です。まずファミリーマートに全員で行き、その後は3つのグループに分かれて移動しました。それぞれの場所では、日頃のお仕事について話していただいたり、子ども達からの質問に答えていただいたりして、有意義な時間を過ごすことができました。



〈ファミマで店長さんの説明を聞いています〉



〈原保育所で保育士さんの話を聞いています〉

4年生が温井川のフィールドワークをしました

12月5日(木)3・4校時、4年生が北岡防災士の協力のもと温井川周辺で原の防災にかかわるフィールドワークを行いました。3年前の7月8日、大雨により温井橋から六七田橋(ろくしちたはし)周辺にかけて温井川が氾濫した時の貴重な写真を見ながら、現在の状況と比較しながら説明を聞きました。温井川のほとりに立つと、周囲の民家が建っている場所より低いことが分かり、氾濫の危険性があることが実感できました。六七田橋の下辺りには大雨の際に川が運んできた中小の石や砂が堆積していて、川の働きを学ぶこともできました。4年生にとって、とてもいい経験になりました。



〈3年前の氾濫時の写真を見ながら
防災士の話を聞く4年生〉



〈六七田橋の下の川の流れと石や砂の
堆積の様子を見ています〉

